

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

むすこ

一ばんかわいい息子が、
どれいに



^{ぶん}
文: E. Duncan Hughes

^え
絵: Byron Unger; Lazarus

^{かいさくしゃ}
改作者: M. Kerr; Sarah S.

^{ほんやくしゃ}
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

^{しゅつばんしゃ}
出版社: Bible for Children

www.M1914.org

©2007 Bible for Children, Inc.

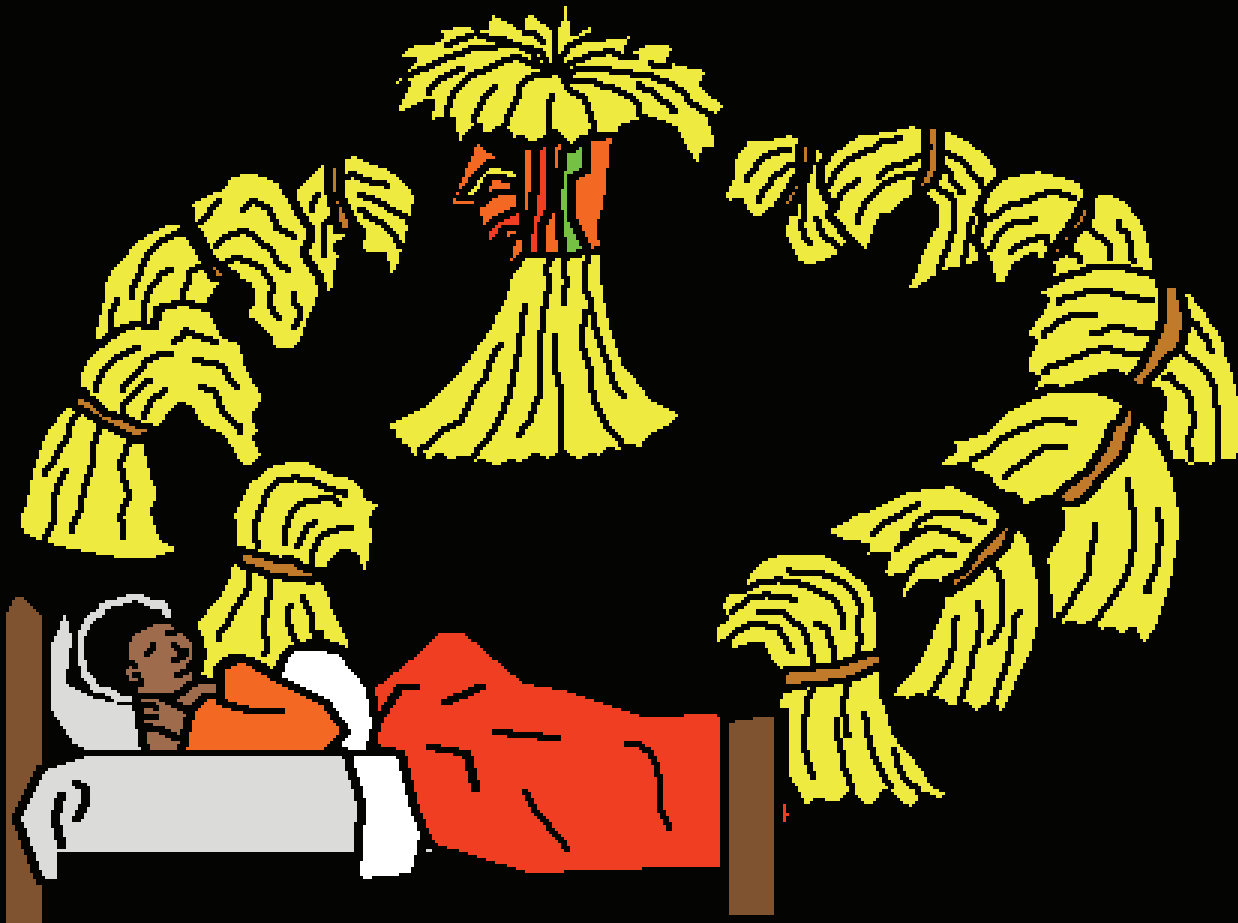
^{きよか} ^{たにん} ^う ^{かぎ} ^{はなし} ^{また}
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、
^{きよか}
許可されています。



イサクは、ほんとうにしあわせでした。なぜって、^{むすこ}息子ヤコブが^{いえ}家にいるのですから。それに、いちどは、^{おとうと}弟ヤコブを^{ころ}殺そうとしたエサウでさえも、^{おお}大よろこびでヤコブを^{むか}迎えてくれたんですからね。けれども、ヤコブの^{むすこ}息子たちは、しあわせじゃなかったのです。それは、かれらの^{おとうと}弟ヨセフが、^{とう}お父さんのいちばんかわいい^こ子だったからです。



ある時ヨセフは、自分のゆめの話をしました。それを聞いた兄さんたちは、かん
かんにおこりましたよ。そのゆめというのは、こうでした。「私のこくもつの束
は、高く立ち、兄さんたちの束が、おじぎをしたんだよ。」このゆめは、ヨセフ
が、兄さんたちよりも、もっとえらくなるということを、言っていました。



にどめ

ヨセフの二度目のゆめ

たいよう つき ほし

は、太陽と月と星が、ヨセフにおじぎしたというものでした。このゆめに

とう

は、お父さんヤコブもおこってしまいました。ヨ

じぶん とう

セフは、自分をお父さん

かあ にい

や、お母さんや兄さんた

もの

ちよりも、えらい者という
ことになりますから。



ある日、ヤコブは、ヨセフをとおくにある広い牧草地へ行かせました。そこでは、兄さんたちが、ヒツジやヤギの群れの番をしていました。兄さんたちは、ヨセフがこちらの方へやってくるのが見えましたよ。「おい、みんな見ろよ。ヨセフがこちらへ向かってくるじゃないか。あのゆめ見るやつを、やっつけてしまおう。」「そうだ、そうしよう！」ヨセフは、

あぶないことが待っているなんて、思いもしませんでした。



いち　うえ　にい　はんたい　い
一ばん上の兄さん、ルベンは反対して言いました。「みんな、それはよくない
よ。決して血をながしてはいけないよ。」そして、「そうだ、見ろよ。ここに穴
けっ　ち　な　な　い　い
がある。この中に、ヨセフを投げ入れてしまおうじゃないか。」と言いました。
よる　たす　だ
ルベンは、夜になったら、そっとわからないようにヨセフを助け出

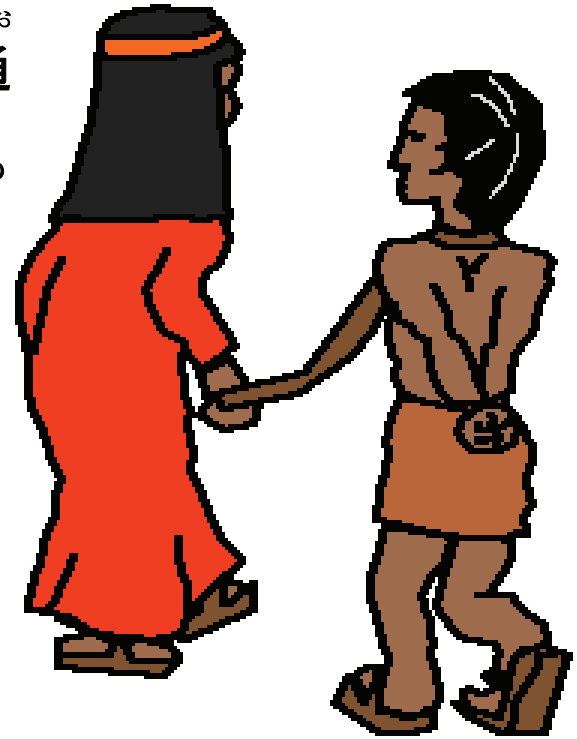
おも
そうと思いました。



いよいよ、ヨセフ
が、やってきました
にい
よ。兄さんたちは、
ヨセフにおそいかか
り、かれのきれいな
ふく
服をはぎとってしま
いました。それは、
ちち
父ヤコブがかわいい
むすこ
息子ヨセフのため
つく
に、作ったとくべつ
ふく
の服でした。それか
にい
ら、兄さんたちは、
ヨセフをおそろしく
あな なか な
ふかい穴の中に投げ
こんでしまったの
です。



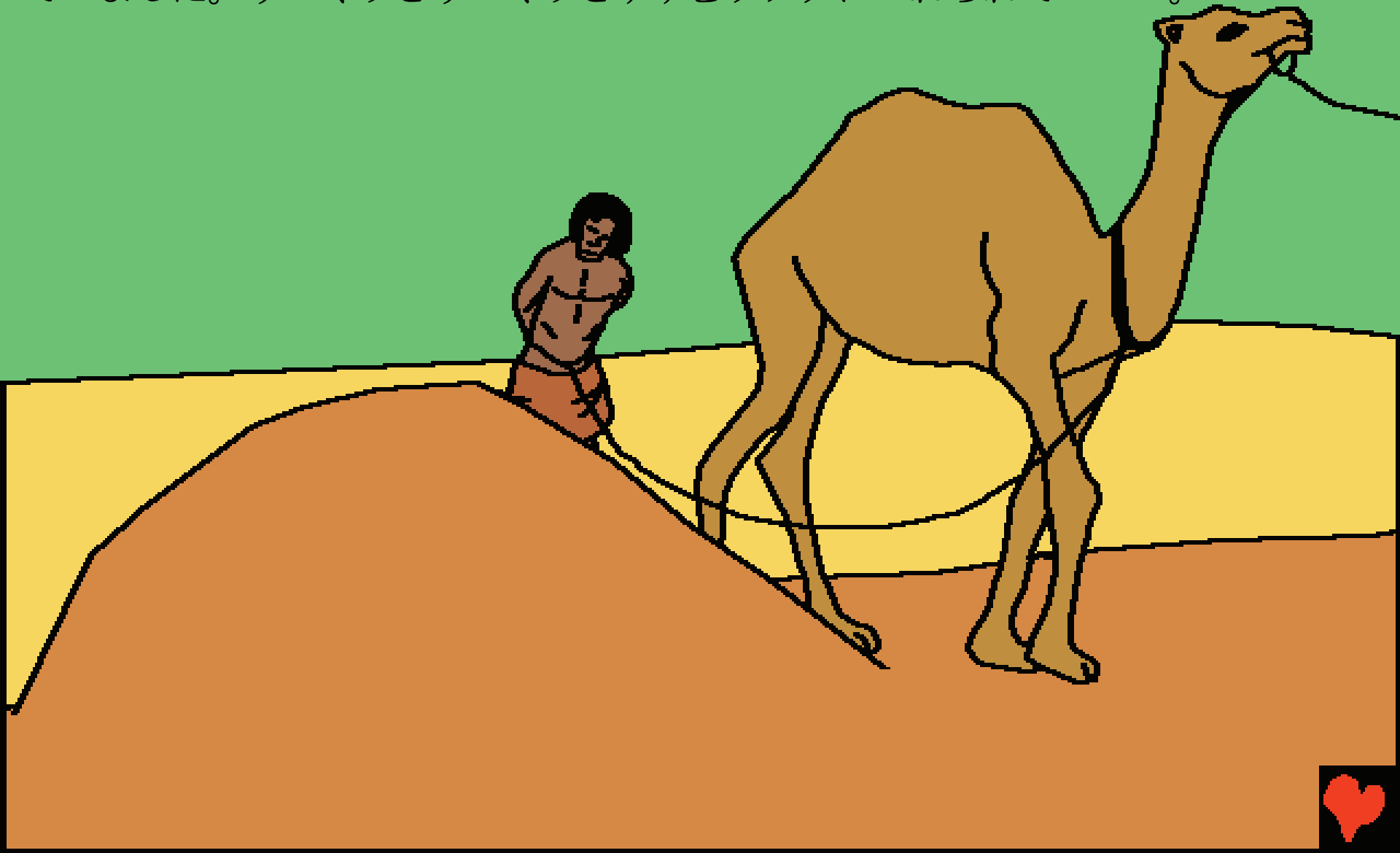
ルベンが、^{あな}穴のところから、しばらくはなれていた
ときのことです。ラクダをつれたキャラバン^{たい とお}隊が通
りかかりました。かれらは、エジプトへ^い行くとちゆ
うです。「そうだ、ヨセフを^{ひと}あの人たちに^う売って
しまおう。」^{にい}兄さんの^{ひとり}一人、ユダがさげびました。



そして、キャラバン^{たい}隊の
人たちと^{はな}話し^あ合いました。
とうとうヨセフを、
^{ぎんか}銀貨20まいで、^う売って
しまいました。



ヨセフは、おそろしくてもう目にはなみだがいっぱいです。だんだん遠くはなれていくお父さん、お母さんのいるなつかしい家や土地を、ただぼんやりとながめていました。ゆっくりとゆっくりとすすむラクダにつれられて・・・。





とう
「お父さん、これはヨセフの
うわぎ ち
上着でしょうか。血がついて
いるのですけれど……。私
うわぎ の
たちは、この上着をあら野で
にい
みつけたのです。」ひどい兄
とう
さんたちは、お父さんのヤコ
むすこ
ブに、かわいい息子ヨセフ
が、けものにころされてし
しん
まったと信じさせました。ヤ
コブは、あまりのかなしさ
ふく な
で、服をひきさき泣きつづけ
ました。だれもヤコブを
なぐさめることは、できませ
んでした。





ひとり

エジプトで、一人ぼっちになって

ふあん

しまったヨセフは、きっと不安で
おそろしかったにちがいありませ
ん。たぶんヨセフは、みんなのい

いえ

る家に、もどりがたかったでしょ
う。でもかれは、にげだすことが
できなかつたのです。かれは、こ

くに

やくにん

じん

の国の役人であったエジプト人ポ

いえ

ティファルの家でどれいとなり、
はたらきました。ポティファル
は、ヨセフがいつもいっしょうけ

み

んめいはたらいているのを見て、

あんしん

安心してなんでもまかせられると

おも

思いました。



「ヨセフ、おまえのすることは、なんでもみんなう
まくいくんだね。」ポティファルは、ある日、ヨセ
フにこう言いました。「神さまが、おまえについて
おられるようだ。さあ、これからは、おまえを
使用人の一ばんえらい者としよう。私のしごとの
すべてをまかせ、ほかの使用人みんなの主人としよ
う。」



かみ

神さまは、ポティファノに、^{はたけ}畑でたくさんの^{さくもつ}作物ができるように、

そしてまた、たいへん^{ゆた}豊かにくらせるようにしてくださいました。ヨ

セフのおかげですね。いまや、この^{くに}国でとても^{たいせつ}大切な人となったヨセ

フですけれど、いつも^か変わらず^{かみ}神さまを^{しん}信

^{つか}らいし、^{つか}仕えていました。ところがね、

ヨセフに、たいへん^{こま}困ったことがお
こりましたよ。



ひと

ポティファルのおくさんは、よい人ではありませんでした。かのじよは、ヨセフ

じぶん おっと

に自分の夫ポティファルのかわりをするように言いました。もちろん、ヨセフは

い

ことわりました。ヨセフは、ポティファルによく

かみ

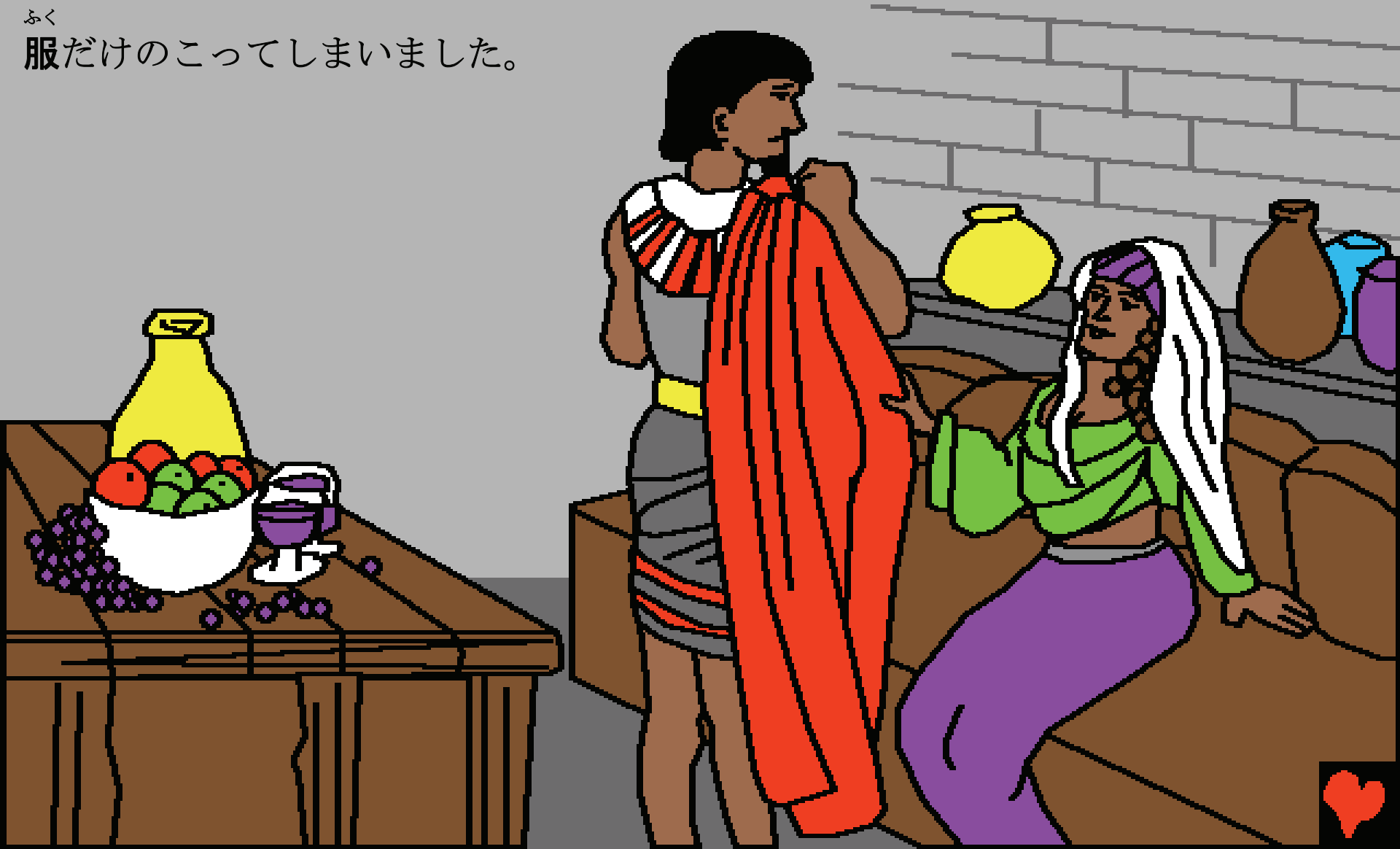
つみ

ないことをして、神さまに罪をおかす

つもりはありませんでした。



あるとき、おくさんはヨセフにむりやり^い言^いいよ^いってき^いました。かれは、^{そと}外^{そと}へうま^{そと}く^{そと}にげ^{そと}ましたよ。ところが、おくさんは、ヨセフの^{ふく}服^{ふく}を、し^{ふく}っか^{ふく}りつ^{ふく}か^{ふく}んでいま^{ふく}したので、
^{ふく}服^{ふく}だけのこ^{ふく}ってしま^{ふく}いました。



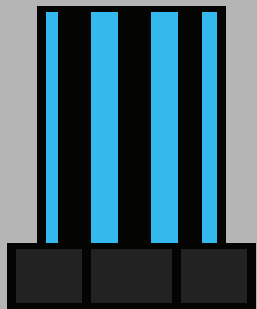
わたし

「あなたのどれいは、私にいたずらしようとしたのです。」ポティファルのおくさんは、このようにヨセフのことをいいました。「さあ、^み見てくださいよ。ここにヨセフの^{ふく}服があるから。」それを^み見て、ポティファルは、たいそうおこりました。

でも、もしかしたらかれは、^{じぶん}自分のおくさんが、うそをついているって知^しっていたかもしれませんね。けれども、とにかくポティファルは、なにかしなければなりませんでした。いったいかれは、どうするつもりなのでしょうね。



ポティファルは、ヨセフをろうやに**放**りこんだのでした。



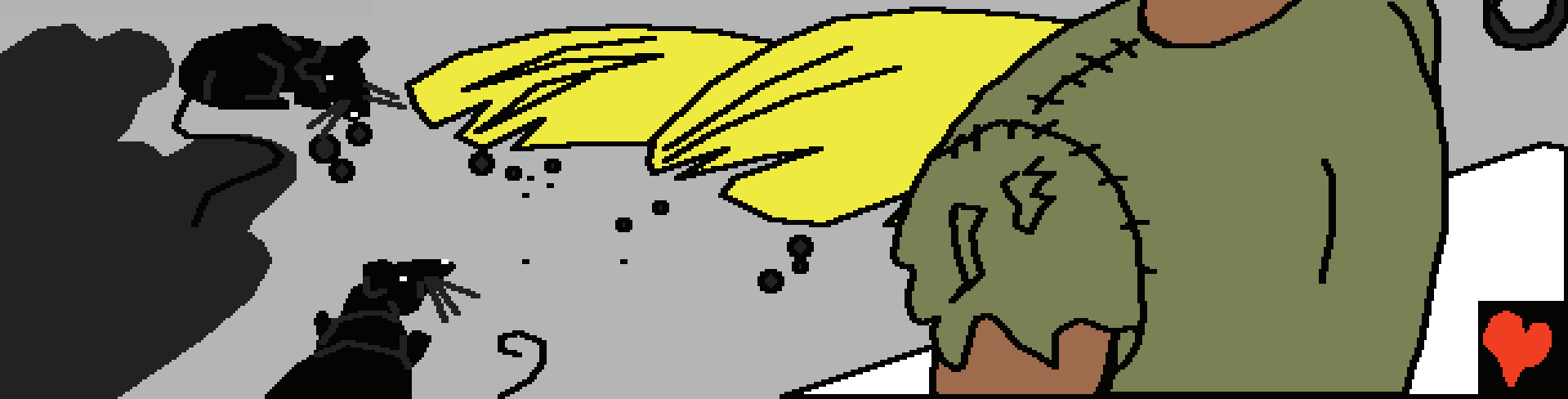
ヨセフは、なんの**罪**もなかったのにどうして？ でもかれは、そのことで、つらく**思**ったりおこったりはしませんでした。

たぶんヨセフは、今までの**苦**しかったできごとから、

いろいろ**学**んできたからなのでしょうね。つまり

ね、たとえどこにいたとしても、いつも**神**さまを**第**一にしていれば、**神**さまは、かならずまもってく

ださるだろうって。たとえ、ろうやの中でもね。



むすこ
一ばんかわいい息子が、どれいに

かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう
創世記 37 章—39 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っています。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しています。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ
けれども、神さまは、あなたをととても愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく
の世に送っていただきました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
わたし なか き つみ わたし いま
いらしています。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けて
ください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

